

なかつか 亮



被災者に“よりそう”支援へ 一歩前進

品川区提供の避難者住宅にクーラー設置が実現！！

共産党は6月23日の第2回品川区議会定例会で、被災地から避難し品川区が提供している被災者住宅について、クーラー設置を要望。7月からクーラーの設置工事が始められたことがわかりました。共産党は、国政でも地方政治でも被災者に“よりそう”支援の実施に引き続き力を注ぎます。

被災者を訪問

3月11日の大震災後、被災地から知人などを頼って品川区内に避難した方に品川区は29戸の被災者向け住宅を提供。共産党は被災者を訪問し、要望を聞き取り調査しました。口々に不安や不満が出され「いつ帰れるのか解からず、先の見通しがたたない」「原発事故のせいで避難生活をしているのに電気代が自己負担とは納得いかない」などの意見、要望を伺いました。

被災者に

よりそう支援を

共産党は寄せられた要望を元に23日の区議会定例会で「受け入れ期間6カ月について、生活再建の見通しがつくまで延期すること」「東電に電力料金の免除や一時帰宅時の交通費支給を働きかけること」「夏に向けてクーラーの設置を国、東電に求めること。設置が遅れるなら、当面、区が設置すること」を品川区長に要望。品川区長は被災者住宅の受け入れ延



期については「個別の状況を把握し、必要な判断を行う」と延長の可能性を示しましたが電気料金免除や一時帰宅費、エアコン設置については「被災者全体の支援にかかわる事がないので、区独自で行う考えはない」と説明しました。

共産党はその後の27日建設委員会でも、改めて被災者向け住宅へのクーラー設置など追加支援の実施を要望。粘り強く実施を求めました。

裏へ

品川区が提供している被災者向け住宅にクーラーの設置を！

これは、いつまでも議論に時間をかけている場合ではありません。

暑い日が続き、避難生活をしている方は仕事も失い、貯金を取り崩し、支出をできるだけ抑える生活。

ようやく都内で見つけた仕事も、毎日の食費に充てるのがやっとの状況だからです。

クーラー設置工事が7月からスタート

こうした中、ようやく品川区は動き出し、7月1日をもって品川区の被災者向け住宅を、応急仮設住宅（いわゆる仮設住宅）として位置づけ、応急仮設住宅の

標準整備であるクーラー設置を行うことになりました。現在、

順次設置工事が進められ、とても喜ばれています。

設置費用は一台あたり6〜7万円ほど。当面は品川区が仮払いし最終的には国に請求する見通し。クーラーは応急仮設住宅から引越した際に

希望があれば無料で持っていくけます。取り外し工事は本人負担の予定です。

期間延長も可能に

また、応急仮設住宅となったことで、入居期間も原則1年（最長2年）となり、当初6カ月間としていた期間を延期することも可能に。この

件について品川区は

住宅のオーナーと相談・調整したいと話します。

共産党は、区が提供した住宅だけでなく、あわせて民間住宅で賃貸契約を結び

避難生活をしている方への家賃助成や生活支援も行おう事も求めています。

大震災から4カ月となった今、避難生活をしている方の要望や状況も刻々と変わります。国会では被災者そっちのけで

党利党略が続いていますが、これではいけません。

これから被災者の要望をしっかりと取り上げ、被災者救援、生活再建に力を注ぎたいと思います。

なかつか亮

宮城県石巻市被災地ボランティア報告会

6月26日から29日に行った、共産党品川地区委員会の被災地ボランティアについて、映像と写真を使った報告会を行います。前回号でもお知らせしましたが、改めてお知らせします。ぜひ、ご参加下さい。

日時：7月16日（土）午後6：30分 場所：大井第2区民集会所

主催：日本共産党品川地区委員会（3785-2810）

次回の「気軽な町の無料法律相談会」のお知らせ

9月9日（金） 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に無料相談会を行なっています。法律のこと、生活のこと等お困りのことがありましたら、お気軽にご連絡ください。なお、「生活なんでも相談」は毎日受け付けていますので、いつでもご連絡ください。なかつか亮

連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**